

財政収支(1-8月)

(1) 1-8月の歳入は前年同期比34.1%増、税収は同39.7%増。歳出は前年同期比19.5%増。
 (2) 結果として1-8月の財政収支は375.07億リラの赤字(前年同期比66.2%増)、プライマリーバランスは906.58億リラの黒字(同569.4%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2020年1-8月(A)	2021年1-8月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	6,505.06	8,726.35	34.1%
税収	5,104.18	7,128.08	39.7%
所得税	976.40	1,321.40	35.3%
法人税	781.89	1,171.72	49.9%
付加価値税(国内及び輸入)	1,271.65	2,226.46	75.1%
特別消費税	1,226.87	1,325.31	8.0%
その他税収	847.37	1,083.19	27.8%
税外収入等	14.01	15.98	14.1%
歳出(b)	7,614.32	9,101.42	19.5%
人件費	1,947.51	2,289.40	17.6%
物品及びサービスの購入	474.41	550.40	16.0%
経常移転	3,286.53	3,779.15	15.0%
資本支出	445.12	546.87	22.9%
支払利子(c)	916.14	1,281.65	39.9%
その他歳出	544.61	653.95	20.1%
財政収支(a-b)	▲ 1,109.26	▲ 375.07	66.2%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 193.12	906.58	569.4%

経常収支(1-7月)

(1) 1-7月の経常収支は、137.44億ドルの赤字(前年同期は232.15億ドルの赤字)。
 (2) 1-7月の貿易収支(物品)は164.18億ドルの赤字で前年同期から赤字幅縮小、旅行収支は62.05億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

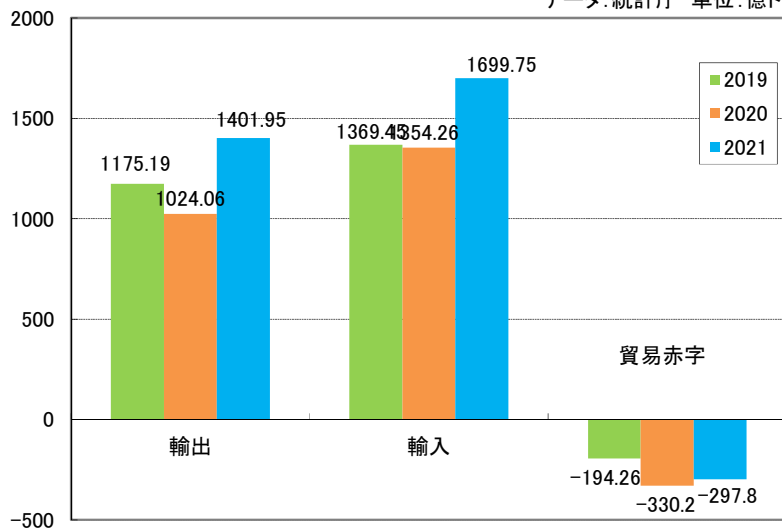
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2020年1-7月(A)	2021年1-7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 232.15	▲ 137.44	40.8%
貿易収支(物品)	▲ 202.28	▲ 164.18	18.8%
サービス収支	28.98	91.84	216.9%
旅行収支	31.51	62.05	96.9%
第1次所得収支	▲ 55.68	▲ 71.77	▲ 28.9%
第2次所得収支	▲ 3.17	6.67	310.4%
労働者送金	0.91	0.90	▲ 1.1%
資本移転等収支	▲ 0.18	▲ 0.38	▲ 111.1%
金融収支	▲ 284.68	▲ 57.58	79.8%
直接投資	▲ 25.26	▲ 35.79	▲ 41.7%
証券投資	148.89	▲ 38.85	▲ 126.1%
その他投資	▲ 94.30	▲ 122.58	▲ 30.0%
外貨準備	▲ 314.01	139.64	144.5%
誤差脱漏	▲ 52.35	80.24	253.3%

貿易収支(1-8月)

(1) 1-8月の輸出額は1,401.95億ドル(前年同期比36.90%増)、輸入額は1,699.75億ドル(同25.51%増)となり、この結果、貿易収支は297.8億ドルの赤字(同9.81%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-8月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.8%(前年同期は41.2%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は33.1%(前年同期は31.9%)となっている。

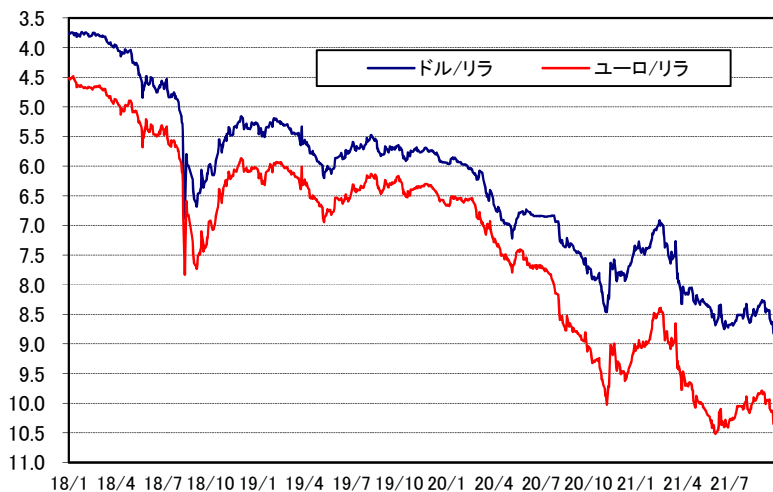
データ:統計庁 単位:億ドル



為替(9月)

金融政策委員会(23日)が政策金利を1.0%引き下げ、18.0%に変更したことから、リラ安が進行し続け、最安値を更新。9月末は1ドル=8.88リラ(前月末比6.9%安)、1ユーロ=10.29リラ(同4.8%安)となった。

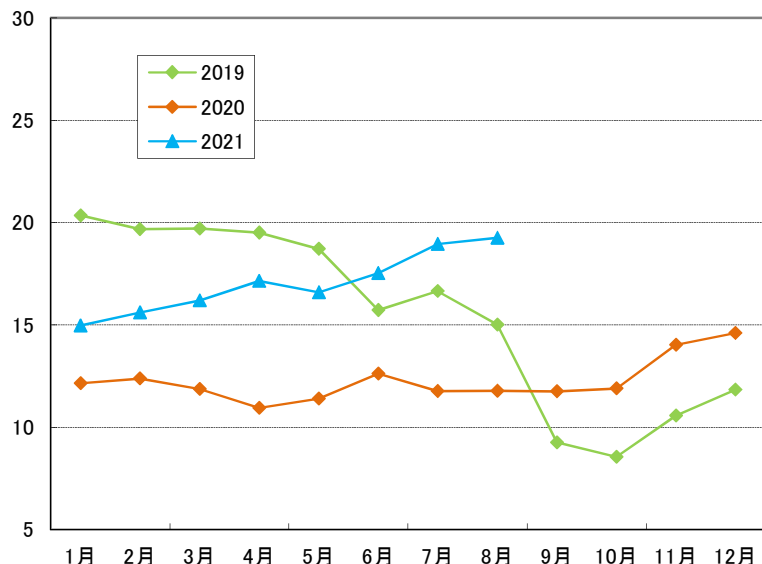
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(8月)

- (1)8月の消費者物価は前年同月比19.25%増、前月比1.12%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比29.0%で食品・非アルコール飲料が、前月比3.18%で食品・非アルコール飲料が最も上昇した。
- (3)2021年末のインフレ率の中銀目標(7/29時点)は前年同月比14.1%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比45.52%増、前月比2.77%増となった。

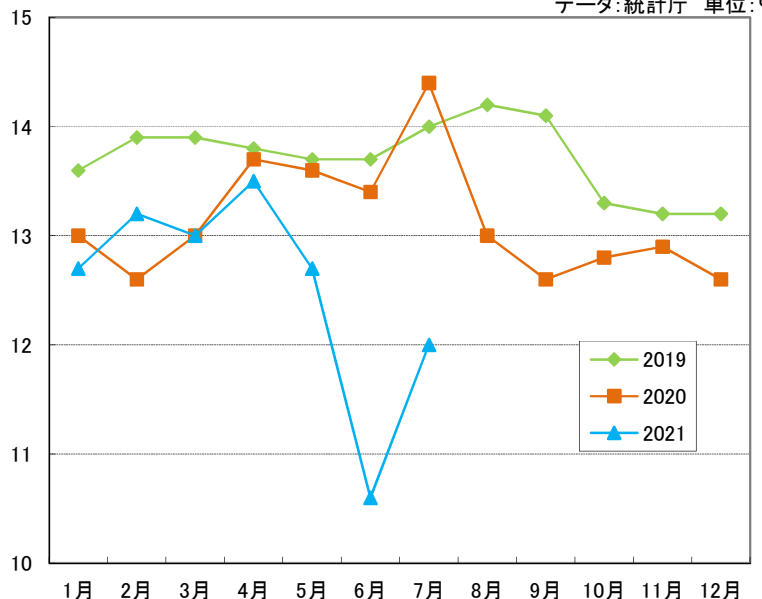
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(7月)

- (1)7月の失業率(季節調整後)は12.0%。前月から1.4ポイント増加、前年同月から2.4ポイント減少。
- (2)労働力人口は3263.2万人、就労者数は2873万人、失業者数は390.2万人。
- (3)男性の失業率は10.8%、女性は14.4%。若年層(15-24歳)の失業率は23.1%となっている。

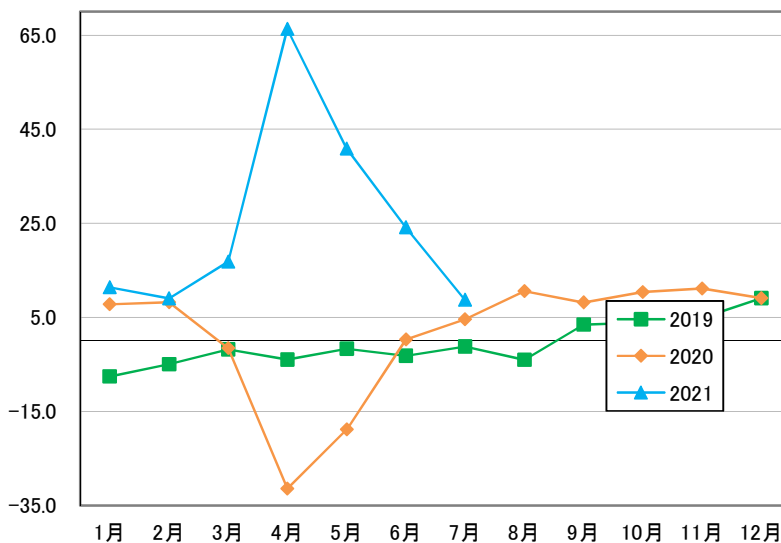
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(7月)

(1)7月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)8.7%増、前月比(季節及び日数調整後)4.2%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比4.6%増、資本財が同2.5%減、中間財が同13.6%増となった。

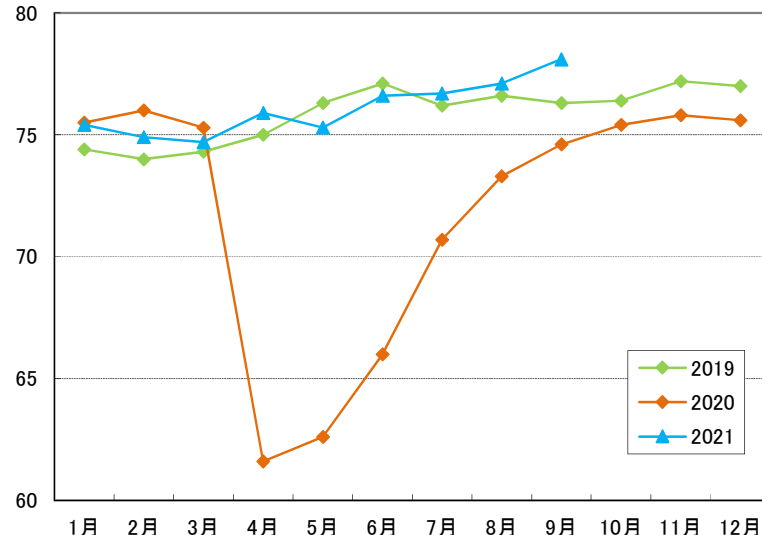
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(9月)

(1)9月の設備稼働率は78.1%となり、前年同月から3.5ポイント上昇し、前月から1.0ポイント上昇。
 (2)製造業の分野別では、材木、木製品及びコルク製品製造業(家具を除く)(84.7%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品(63.7%)が最も低い稼働率であった。

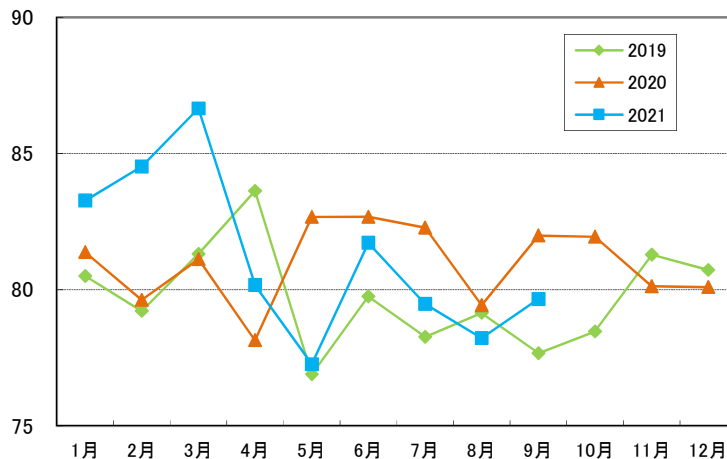
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(9月)

(1)9月の消費者信頼感指数(季節調整値)は79.7ポイントで、前月から1.5ポイント上昇。
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」及び「現在の家計の財政状況」は前月から上昇した。

データ:統計庁 単位:ポイント



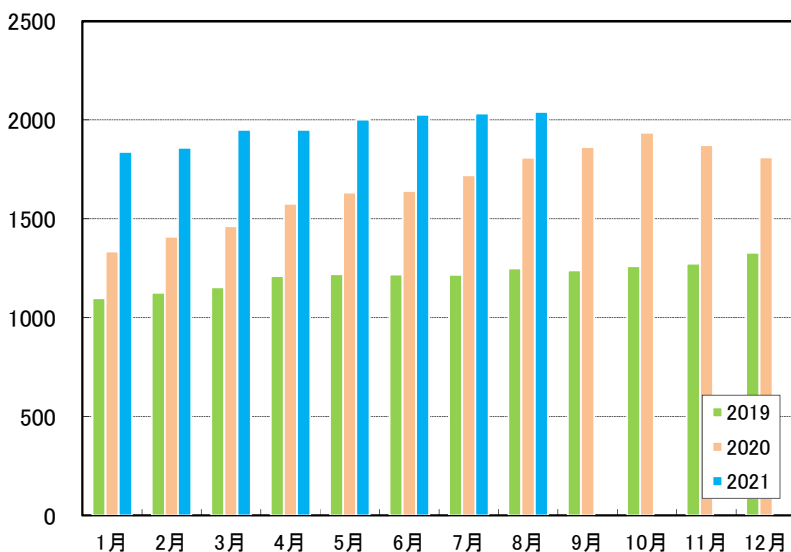
中央政府債務残高(8月)

(1)8月末時点での中央政府債務残高は2兆417億リラとなり、前月比0.5%増、前年同月比12.8%増となった。

(2)また、国内債務比率は57.3%、自国通貨債務比率は43.6%(2020年末は43.8%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は1.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

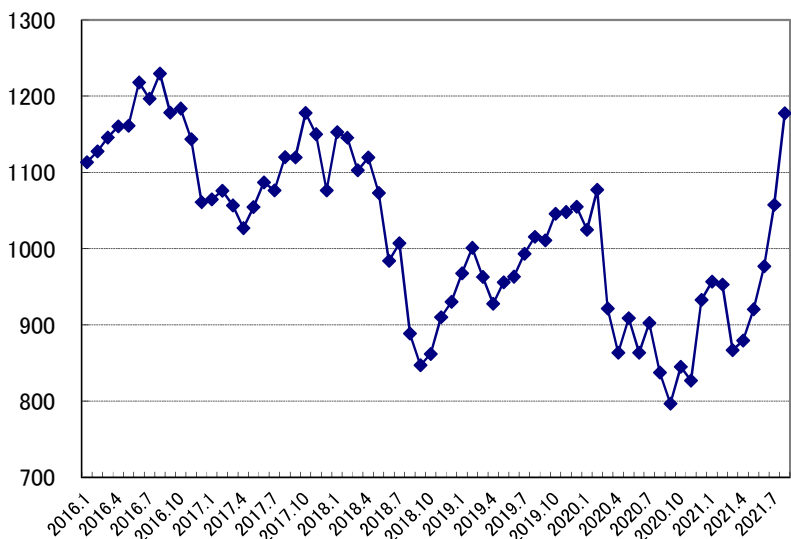


外貨準備高(8月)

(1)8月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,177.6億ドルとなった。

(2)前月から119.96億ドル増加し、5ヶ月連続の増加となった。

データ:中銀 単位:億ドル

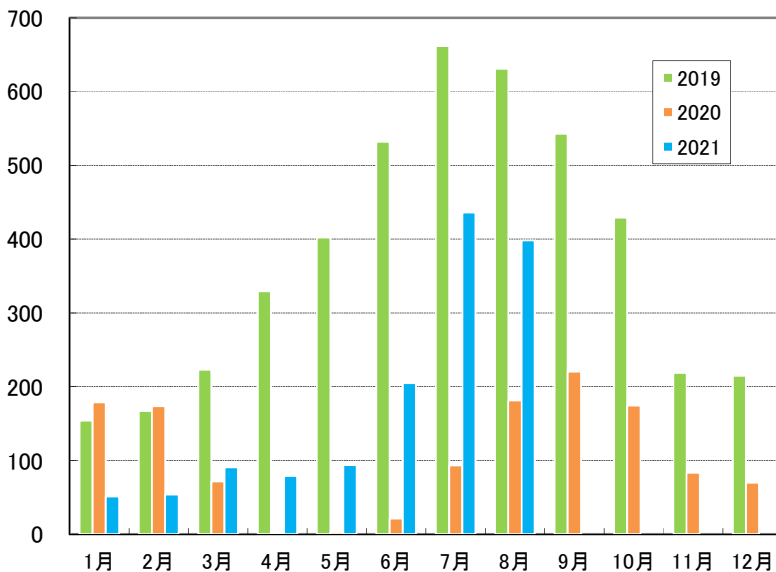


外国人訪問者数(8月)

(1)8月の外国人訪問者数は3,982,168人で、前年同月比119.44%増。日本は925人であった(前年同月は450人)。

(2)国別ではロシアが最も多く、906,060人で全体の22.75%を占め、以下、ドイツ(611,025人)、ウクライナ(324,272人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

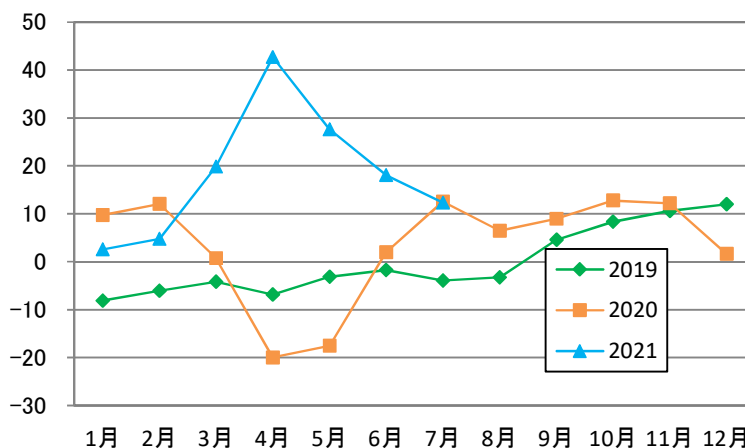


小売売上高(7月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)7月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)12.3%増、前月比(季節及び日数調整後)0.7%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比5.2%増、繊維・衣料が同37.3%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同7.3%増、となった。

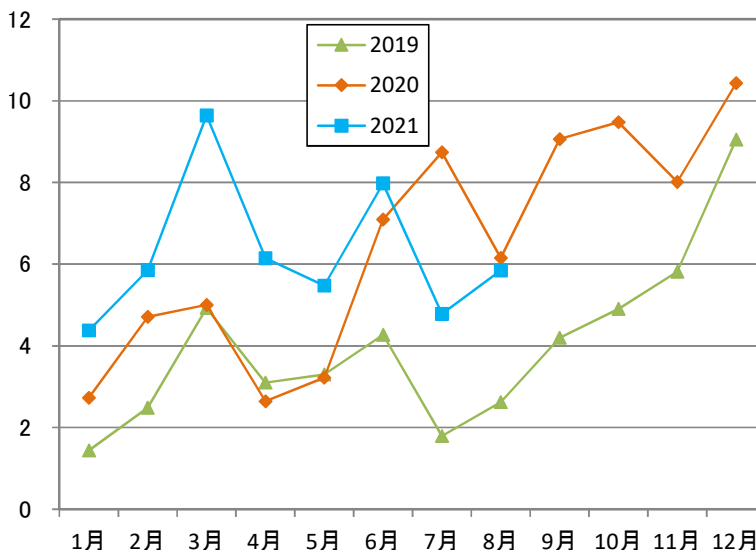


新車販売台数(8月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)8月の新車販売台数は58,454台で前年同月比5.0%減。

(2)8月の内訳は乗用車が44,756台(前年同月比0.9%増)、小型商用車が13,698台(同20.2%減)となった。



住宅販売戸数(8月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)8月の住宅販売戸数は141,400戸で前年同月比17.0%減となった。

(2)8月は新築が42,639戸(前年同月比18.2%減)、中古が98,761戸(同16.5%減)。

(3)8月の住宅ローンでの購入は27,375戸(前年同月比64.0%減)、その他が114,025戸(同20.8%増)。

